令和二年　盂蘭盆施餓鬼法要ご報告

八月二日に執り行いました、盂蘭盆会施餓鬼法要についてご報告いたします。

本年は新型コロナウイルス対策として、ご参列の方にはマスク着用と間隔を空けての着席にご協力いただき、法要を厳修いたしました。また、梅雨明けした暑い天気でのお参りでしたので、熱中症対策として廊下等には麦茶を用意し、法要前後などに水分補給のご案内をいたしました。

法要ではご先祖様のお盆のご供養・施餓鬼供養と共に、新型コロナウイルスの疫病退散祈祷、罹患者の早期回復、早期治療薬・ワクチンの開発を皆様と祈念いたしました。

山崎上人の法話では「盂蘭盆御書」を参考にしながら、例年とは異なるお盆を迎えるにあたっての心持ちについてお話をいただきました。その一部を下段に抜粋して記載いたします。



《山崎英健上人の法話》

盂蘭盆御書に書かれている通り、ご先祖様へのご供養はご自身は勿論のこと、お子さんやお孫様といった皆様の子孫にも回向されます。今年は遠くへ外出することは難しい年ですので、このお盆はお墓やお仏壇のお参りをご家族に伝える良い機会になるのではないでしょうか。

お盆のお参りでは、ご先祖様にお土産をいっぱい持って帰ってもらいましょう。ここで最も大切なことは心を込めてお供物を備えることと、仏様やご先祖様が目の前にいることを想像しながらご供養することです。目に見えなくても目の前にいることを意識して、心を込めて感謝の言葉をかけてあげてください。仏様やご先祖様はいつも私達のすぐそばにいて、手を差し伸べてくれています。いつも見守ってくださっていることに感謝しながらお参りをしてください。

今年は帰省しない遠方の家族や親戚の方がいれば、その方にも遠くから手を合わせてお参りをするようにお伝えください。遠くからでもその心はきっとご先祖様に届くとお伝えください。

ひかり

第62号
(令和2年9月)
浄光寺寺報

山形市八日町
2-4-35
(023)622-6010

令和二年　秋彼岸法要のご案内

記

九月十九日（土）彼岸入りの日

一・午前十時半　法話

二・午前十一時　法要



卒塔婆のお申し込み・ご変更のある方は、お早めにご連絡下さい。（一本 二千五百円）

例年は法要後に芋煮供養を行っておりましたが、本年は健康・安全を第一に考えて断念いたします。法要は席を空けて着席していただき、換気等に十分留意して開催いたします。本年は残暑が厳しいようですので、皆様暑さ対策をしてご参列いただきますようお願い申し上げます。

令和二年　宗祖報恩会式法要のご案内

記

十月十七日（土）　於　浄光寺

一・午後二時　会式法要

日蓮聖人への報恩感謝の卒塔婆を建立される方はご一報お願いいたします　（一本　二千五百円）

本年の宗祖報恩会式法要につきましてご連絡いたします。本年は右記の通り会式法要のみを執り行うこととといたします。

例年ですと法要後に催し物及び懇親会を開催しておりましたが、大人数での会食を避けるために中止することといたします。

今年は山形県においても花笠祭りをはじめとして、夏祭りや花火大会などが中止されております。来年こそは平和で安心して暮らせる日々が戻ってくるよう願いつつ、これまでの無事を見守ってくださった日蓮聖人に、報恩感謝のお題目を一緒にお唱えいたしましょう。

《宗祖御降誕八百年を控えて》

日蓮聖人は貞応元年（一二二二）二月十六日、安房国長狭郡東条郷片海小湊にお生まれになりました。

それから八百年の年月が流れ、来年令和三年は日蓮聖人御降誕八百年を迎えます。これに伴い日蓮宗では各地方・寺院における法要の開催や宗務院主催の慶讃事業等が企画されています。殊に千葉県鴨川市の誕生寺においては、本年二月に約二千五百本もの竹灯籠にあかりを灯した前年祭が開催されるなど、来る御聖儀に向け準備が進められています。

来年の団体参拝へ繰り越しとなった御生誕の霊地である安房小湊には、様々な日蓮聖人の縁起が伝えられています。その代表には、誕生の時に湧き出し産湯に使ったという誕生水、時ならぬ蓮華が咲き乱れたという蓮華淵、鯛が海面に群れたという鯛の浦の三奇瑞が挙げられます。一昨年前からはお子様をお連れの方向けの催しとして「リアル宝探し　あやかしワンダーランド」と銘打ち、三奇瑞を巡る境内散策をご家族皆様で楽しめるように工夫されています。

浄光寺においては、毎年開催しておりました「わんぱく寺子屋」が八百年事業の一つに掲げられている「青少幼年教化推進事業」に該当しています。この事業は信徒・未信徒に関わらず、多くの青少幼年に仏さまとの縁を結んでいただくことを目的としています。当山では、合掌をはじめとするお参りの所作や写経などの仏事体験をはじめとして、初対面の子供同士の交流・共同生活などを通じて、子供の健全な成長の一助になればとの思いで続けている活動です。来年は無事に開催され、境内に子供たちの元気な声が響き渡ることをご先祖様も心待ちにしているのではないでしょうか。





歌舞伎『日蓮』のご紹介とご連絡

前述の宗祖御降誕八百年慶讃事業の一環として計画されている、四代目市川猿之助の演じる歌舞伎『日蓮』に関するご紹介です。

〝江戸時代から歌舞伎の題材に〟

宗祖日蓮聖人を題材とした歌舞伎が上演され始めたのは、江戸歌舞伎全盛の時代ではないかと言われております。江戸三座に数えられる、中村座・市村座・森田座にて上演されていたそうです。

当時、歌舞伎『日蓮』が十月の御会式頃に上演され、十一月の『酉の市』、十二月の『羽子板市』『忠臣蔵』と、秋口より歳末に向かって江戸の風物詩として知れ渡っていたようです。

〝令和の歌舞伎『日蓮』〟

平成の代に再構想され、令和の代に新作として制作される歌舞伎『日蓮』が東京歌舞伎座で上演されます。主演に四代目市川猿之助をむかえ、稀代の劇作家横内謙介新作書下ろしの脚本・演出にて構成されます。日蓮聖人がどのように令和の歌舞伎で表現されるか好御期待です。是非、東京歌舞伎座へお越しください。

※令和二年八月末現在の情報

《日時》令和三年六月　夜の部（詳細未定）

《場所》東京歌舞伎座

《価格》全五種席種により変動（詳細未定）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本来でしたら公演日程やチケット予約等に関する詳細な情報が告知されている予定でしたが、八月末現在では調整中との情報のみが開示されています。

今後の情勢次第では、やむを得ず日程変更や延期・中止等の判断がされることも想定されます。ご承知のほどよろしくお願い申し上げます。

追加の情報が入りましたら本紙面等にてご案内いたします。なお、団体参拝での鑑賞も検討しております。そちらにつきましても日程等が決まりましたらご案内いたします。



主演予定の
市川猿之助さん



公演予定の東京歌舞伎座